

磐城時報

第九十期
日刊
石城郡平野町
電話 四一四
印刷所 磐城時報印刷部
代印所 磐城時報印刷部
電話 四一四
電話 四一四
電話 四一四

工費一萬圓を投じ

火災豫防の電話

平營林署で架設する

平營林署管内に於ける林野火災好問を經小川郷前平野の營林署倉は年を逐て減少してゆくが、庫に架設ししより縣道に沿ふるれども林野火災による損失莫大野村玉山の官舎に至り更に大なるものあり、本年もそのを延長して八莖の森林主事官ら火災期の冬が近づいて來たの倉に通ずる延長十餘里の電話線で火災豫防について種々對策を以て工費一萬圓、着工は來る十一月考究中であつたが、今年から重月中旬である、更に今年度中に官有林所在地に専用電話を小川郷前平野から戸渡に至り電架設し火災豫防を行ふ事になつた話を、架設するに至るであらう。右電話は平營林署から平野に。

降灰被害について

大浦村民が協議

成行さを注視さる

四倉町警署セメント會社四倉工した程で成行さを注視されてる。塘附近の四倉町本町及び大浦村の農民は毎年收穫期になると降灰被害賠償騒ぎを起してゐたが本年も收穫期に入り降灰の被害がある。多數農民は會社に交渉を重ねる事になつたが、會社もして十數萬圓を投じ、降灰豫防機を据つたり附近に試験田を設けてゐたので俄かにこの要求に應ずるやうな事はあるまいと見られてゐる、然し被害民は十六日大浦村上仁井田農務院に被害人大會を開き對策を協議

▲刑事轉任 平警察署刑

▲平町會召集 平町會は二十一日午前十時召集左の諸件を附議する。
一、寄附採納の件
二、區長及び區長代理選定の件
（村木町、北目、胡麻澤）
三、昭和二年度平町歳入出豫算追加及び更正の件
四、昭和二年特別特別税戸數割隨時賦課額決定の件
五、火葬場設置に關する件

毎夜臺所の刃物を 隠して寝る有様

盜難頻々たる城山附近 犯人は二人組か

平町舊城跡附近には屢報の如く同夜は仲間同佐々木龍若氏宅に約二ヶ月程前から盜賊毎夜の如忍び入らんとして屋敷内を徘徊し、中主人に發見され逃走した事實あり、通知に接した平署からは中村一貞其他知名の七多々あり、同家を續けざまに數回襲ふ等、同組を捕らへば、遂に逮捕に至らなかつたといふ、何れにしても平町鐵道以北は昨夜に於ては臺所の庖丁を隠して就寝する等満室に眠れぬ不安な日を過してゐる。

二十萬圓の税金に

四苦八苦の醸造家

財界不況で現金回収困難 酒造税納期迫る

酒造税の納期は十月末日まで午後三時まで平町第一小學校講義室に開き、議事協会の後視察委員の十三名に對する本年の酒造税は報告、會員の演説、二十五年以二十萬二千六百六十四圓十九錢、上在職の教員を表彰する等、當最高は内郷村馬目太平氏の二萬圓で最少額でも三三圓内外である。石城地方現在の酒行は屢報の如く財界不況に影響され賣行悪いのみならず現金回収に非常な困難を感じてゐる。殊に前年の持越酒八千石もあり各酒造家とも巨額の酒造税納付には殆んど四苦八苦の狼狽を演じてゐる。

新設電話開通

平野郵便局の新設電話四十口の開通は定めて二十六日であるが番號は未定である。

平管内チブス

平野管内の十八日現在の傳染病患者數は腸チブス二十九名、チブス十名、バラチブス四名、前年同期に比べ約半數近く多いので平署では近、徹底的豫防方法を講ずると。

石城郡の 教育總集會

來月六日開會
石城教育會昭和二年秋期總集會は十一月六日午前九時から

會社では爭議團には關係せず、新たに静岡縣から職工十五名を雇ひ入れ先づ赤井工場に配置して作業を行ふ事になつたが之を知つた爭議團の若松安三郎外六名は聊か出抜かれた觀あり、東京本社に交渉するを稱して十九日朝上京したが、かゝる事情で爭議團の足並早くも崩れ、つた模様である。

故白井遠平翁の 葬儀にはべりて

高濱 兼義
これほどの人悲しませたる紅葉亡骸にすがりて秋のなげきかな

東鐵第一區 現業委員會

東京鐵道局第一區現業委員會は十九日、二十日の兩日平野町元石城郡役所に開き、東京鐵道局經理長高草介氏議長席につき委員七名を擧げ秘密會を開いた。

水害豫防の 協議會

平町水害豫防組合協議會は二十一日午前十時平町役場に開き、平町新川上流の改修工事に關する打合せをなす等、工費一萬圓のうち五割の五千圓は過般縣から補助寄附された。

野村技師來平

縣地方農林技師野村直雅氏は双葉郡内肥料配合所設置協議のため十七日來平し十九日午前十一時歸郷した。

狩獵者 前年より減

平警察署に於ける十九日現在の狩獵免許證交付を受けたものは三種三號百十二名、乙種二號六名、甲種一名、合計百十九名で前年同期と比較すると十三名の減である。

小名濱が重要港灣に 選定された理由と計劃

僅かに小岸壁と物揚場との延長七十三間、倉庫六棟、百坪に過ぎない、しかし本港は東京、越前間のほとん中で商港としての設備を整へるときは石炭、木材、薪炭、石材、鮮魚、穀物、肥料等豊富な物産がこゝを目ざし凡そ數十萬噸に達するは難くなく仙臺以南に商港を下するときは地方産業開發の上から本港を以て他に適當な候補港なくその上修築工事は他の沿岸港に比べ著しく容易である。

修築計劃

一、防波堤 現漁港防波堤の

磐城青年同盟で 舟遊會

地方名士を招待

大浦村木村守江氏等の主唱努力によつて成立した磐城青年同盟會はその後入會者も非常に増加し日を逐ふて有意義さを加へつつあるが、今回平、平窪の二箇所支部を設け、事になつたので之を機会として會員から五十餘宛の會費を徴收し来る二十日午前十時から大浦村仁井田浦に於て盛大な舟遊會を催はす事になつた。當日は郡内名士は勿論、濱三郡の青年團幹部等約三百余名を招待する筈である。

榊田氏 落馬す

幸ひ無事

青森、下の關間長途騎乗の榊田氏は十七日午後須賀川町にさしかつた際自轉車が馬の前を横切らんとしたため馬が狂奔し兩足を車輪にさし入れ馬はその場に倒れたが幸ひ榊田氏も馬も怪我なく前途に向ひ行進した。

四倉の賭博 四倉町字

新町秋山鹿之助(五五)外五名は十七日午後四時頃秋山方で賭博開帳中四倉署員に踏み込まれ捕はれた。

植田署の 賭博狩り

植田警察署では投書により十七日夜管内一齊に賭博狩りを行つた結果川部村菅川(一三三)小窪留太郎(四五)蛭田庄三(二二五)山田村の後藤正喜(二七七)勿來炭礦の坑夫村上富治(三七七)の六名が

同夜十時頃村上方で賭博開帳中を檢舉調べるに至つてゐるが、なほその他にも常習犯が多数ある見込みで徹底的に檢舉をする方針である。

勿來國魂神社祭

連日賑はふ

勿來町の窪田字馬場に鎮座する國魂神社は昨十八日から明二十日まで三日間例祭を執行中であるが同社は己貴命、須勢理姫命を合祀する大同元年出雲大社の分靈を勧請せる神社で地方に靈驗高く神酒醸造の舊例があるため其筋も之とがめす毎年の例祭には神社醸造の醪酒の粕と

電話六一五番

平南町(平館通り)

岡山寫眞館

鮮魚とを合献する粕國の古事あり殊に本年は神輿渡御の奉戴が地元窪田の町内が當番なので山車其他藝妓の手踊など各種余興に一段の奮發を見せ明日まで近年にない賑はひを呈してゐる

學校衛生について

K 生 投

自分の視察した各學校は孰れも古く児童数が多くして教室が不足しその衛生施設など問題でない、當局者もそれを氣分は廣張し新築せんとする氣分はあるが進捗しないといふ状態にある、便所の構造は割合考へられず飲料水もよくない、トラホームは學校で豫防を講じても家庭が無關心では

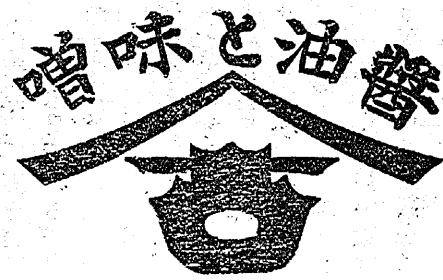
徹底した豫防治療は出来ない服装は田舎に入れば入る程洋服はなくなり多くは和服に帯を昆布巻にして居る、これでは運動もよく出来ない、併し衛生講話をすればする丈効果はあるもので、此の間市内の小學校で口腔検査や講話があつてから私の近くに居る尋常五年の児童がその日から齒齲揚子と齒磨粉を買つて来て磨き始めて居る、夫れ大講話をした利益が現はれる、一面に於ては運動が盛んになつたがその運動も選手のみならず練習に止まり全体が運動せぬのは偏し過ぎて居る、三人や五人の選手を出したところで學校運動の本旨に適はず何にもならん、身心共に調和するやうし

たいものである、殊に田舎は空氣もよし濕氣も少く衛生に適して居るのであるからもつとのんびりした發育があつて欲しいと思ふ。

後備入營通信

(第十一信) 麥人生

昨日は午後から用辨外出をする、市中をめぐり見物したり土産品を買ひあつたり、もう歸り仕度だ。若松の市中至る所平町の「日の出折詰納豆」が幅をきかしてゐるのが目につく、納豆の本場へ來るの平の新製品が潤歩してゐるの感じがしなくもあり力強く感じた。今日は朝から支給品返納で多忙だ、もうあと一日で自由な身になれる。



福島縣平町 山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
電話(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話(下谷)五七二番
電話(下谷)六八三二番

十日ヨリ 日活松竹優秀映畫公開

◎日活現代超作品、監督伊奈精一
根岸東一郎主演、佐藤園治、徳川良子助演
●ロマンス 神田の下宿 全七巻
碧空に高鳴るパットの響、輝かしいサウンド、學生時代の思出、懐かしい校歌、それは古びた日記を開いて見ると...

捕物控 娘吉 全十巻

◎情の太鼓... 冬枯れのみぞれ雪... 哀戀の雄、憐れ乙女は戀に殉じ骨肉の及、露と消へ行くお霜を抱いて娘吉三の魂は遠く天界に去る... 解説 谷天洋 林樂遊

剣戟悲劇 流転 全十四巻

◎武士として世の荒波と闘ひ剣争も、涙も、笑も... 共世の姿を描ける修羅王を凌ぐ折紙付の大傑作!

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる薬酒 栗守酒
朝の一盃は精力の根原、晩の一盃は休眠の助力
栗守酒特約店 大平屋薬店
代價八日分壹圓九十錢 平町一丁目電六二四

最新滋養 回春劑 ビーナス

◎適應症 脳神経衰弱、ヒステリー、生殖不能、除萎遺精、体力増進、新陳代謝等
平町専賣所 五丁目角 山野邊藥局

平町病院案内

齒科 原齒科醫院
土橋通り(電話三一七番)

内科 外科 耳鼻咽喉科 花柳病科 高久病院
田(電話一三五番)

内科 外科 腸病科 梅毒科 松村病院
南町(電話一〇七番)

外科 一般 婦人科 耳鼻咽喉科 赤心堂病院
田(電話四七五番)

眼科 専門科 吉田眼科醫院
紺屋町(電話六八番)

内科 外科 淋病、微毒科 藤沼醫院
紺屋町(電話五〇七番)

内科 外科 婦人科 小兒科 花柳病科 磐城病院
田町本通り(電話一一四番)

耳鼻咽喉科 大和田醫院
南町(電話一七〇番)